

業務効率化を確認 生成AIを本運用

来月から高崎市

高崎市は20日、生成人工知能(AI)の試験運用で業務効率化の効果が確認されたため、11月6日から全庁で本運用を始めると発表した。

本運用に当たり、ガイド

用いる。

試験運用は9月29日まで約4カ月間、若手を中心とした28人が実施。メール文やあいさつ文の作成、文書の要約や添削、企画やイベントのアイデア出しだけに活用した。個人情報の漏えいは見られず、生成した文書など成果物の内容にも問題がなかつたという。

市は「業務効率化とともに新たな気づき、発想も期待できる」としている。

ラインを新たに作成し、①個人情報や機密情報を入力しない②成果物のデータの正確性を確認する③成果物に著作権など権利の侵害がないか確認する—などを定めた。セキュリティーに配慮した公務員専用サイトを